

兵高教組

確定速報5号

2012年11月19日 調査情報22号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745
FAX : 078-351-3185
URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>
mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

「『行革』による賃金カットは今年度で終了」の約束守れ!



8大要求署名 3831筆提出 (第1次)

第3回賃金確定交渉 (11/15)

高教組・従組・兵庫教組合同交渉団は11月15日、第3回賃金確定交渉を行いました。交渉団は、前回交渉で「『行革』による賃金カットは5年目の今年度が最終年である」ことの確認を求めていました。しかし、明確な回答ができず1時間近く交渉が中断し、断続的に折衝を行うという異例の事態となりました。交渉団は松田次長の「行革」カットが「5年間の措置として提案されたことを踏まえ検討する」との回答をふまえ交渉を再開しました。

全県の職場から寄せられた3831筆の高教組8大要求署名がこの日松田次長に手渡されました。職場からの署名が大きな力となりました。

署名提出は、第2次：11月21日、最終：11月27日を予定しています。すべての職場から、「『行革』カット止めろ!」の声を県教委に届けましょう。

今年度で終わりであることを「踏まえて検討する」 次長回答

前回交渉で交渉団は、「『行革』による賃金カットは最初5年間と提案されたが、5年はあまりにも長く、その間でも可能なら改善するために毎年度協議としたのであって、あくまでも年限は5年である」と追及し、回答を求めました。しかし松田次長は、「行革」カットの期限についてあいまいな回答を繰り返したため、交渉は中断しました。

再開後、両松委員長は、

「5年間」を「当分の間」と文言を変えても、賃金カットが5年を超えないのは当然である

今後の交渉は、「現在の『行革』カットの状態をどうするか」ではなく、今年度で「行革」カットが終わるといことがスタートである

と交渉団の見解を示し、県教委の認識を糾しました。松田次長は、「2007年度の交渉において5年間の給与減額措置のご協力をお願いする提案をした」ことを認め、交渉団の見解については「そのことも踏まえて、行革措置について今後検討させていただきたい」と回答しました。

陳腐な「本県の厳しい財政状況」を繰り返す県教委

松田次長の回答は、前回交渉団が追及した・「行革」が目標を上回って進んでいること・「第2次行革プラン」が借金の多さを意図的に強調するものである疑いがあることなどについては触れず、「社会経済情勢・国の政策動向が極めて不透明、今期の財政状況についても昨年より厳しさを増している状況。国が給与臨時特例法による給与減額を行うなか、地方交付税をめぐる財務省からの圧力が世論を味方に付ける形でますます強く、来年度交付税額が減少すれば財政基盤が弱い本県への影響は極めて大きくなる。とりまく情勢が厳しさを増すばかりで、一向に改善の兆しを見せないなか、現段階では一部緩和の対応を取ること自体を含めて非常に困難な状況」と、前回と同じ「本県の厳しい財政状況」を繰り返し、「行革」カットの一部の緩和措置も困難という不誠実な回答を行いました。

8大要求署名を県教委へ!

11月27日(火)
最終提出

「『行革』カット止めろ」の声を届けましょう

これからとりくんでいただける分は、高教組HPから署名用紙をダウンロードしてください。11月27日が最終提出となります。決起集会への持参、または高教組本部へお送り下さい。

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-2-10 兵庫高教組

12確定闘争勝利!

第3波決起集会

2012年11月27日(火) 16:00 ~ 17:00

県庁2号館前広場 職場から多数の参加を!

みんなで怒りを
思いっきり
表明しよう!

